

# 各種機能評価の認定について



第19号 発行日：平成27年10月9日

## 特集 健康管理センターについて 放射線診断科・小児科外来の紹介

**病院の理念 基本方針 「患者本位の医療」**  
 患者さまの意思を尊重し、信頼される医療を提供します。  
 地域中核病院として、高度な医療と救急医療の充実に努めます。  
 急性期病院として関係機関と連携し、地域医療の充実を目指します。  
 地域がん診療連携拠点病院として、機能の充実強化に努めます。  
 臨床研修指定病院として、地域医療を担う優れた医師の育成に努めます。  
 地域医療支援病院として、地域の医療人の教育研修の充実強化に努めます。



日本医療機能評価機構  
機能種別版評価項目3rdG(Ver.1.0)



NPO法人卒後臨床研修評価機構  
(JCEP)



日本人間ドック学会  
人間ドック施設機能評価

当院は、平成27年6月5日付けで日本医療機能評価機構の機能種別版評価項目3rdG (Ver.1.0) 一般病院2の認定を受けました。病院機能評価認定は今回で3回目となります。

また、臨床研修の質の向上を図ることを目的とする第三者評価機構であるNPO法人卒後臨床研修評価機構(JCEP)による機能評価を受診し、平成27年4月1日付けで4年間の認定を受けました。

附属外来センター 健康管理センターでも日本人間ドック学会が定める人間ドック健診施設機能評価認定を平成27年4月1日付けで5年間の認定を受けました。

これからも、質の高い医療サービスの提供に向けて、病院機能の改善と充実に努め、信頼される医療の提供に努めてまいります。また臨床研修指定病院として優れた人材育成を提供する場として臨床研修の質をより一層高めてまいります。

## 健康管理センターについて

健診センター長 **飯島 徹**



健康管理センターでは、本年5月、健診機器を全面的に更新しました。最新の医療機器導入により、更に質の高い健診が提供できるようになっています。今回の更新では、従来の機器に加え動脈硬化の指標として血管年齢が測定できる血圧脈波検査装置や精度の高い骨密度測定装置も導入しました。(これらの検査は一泊人間ドックでは標準検査項目として、日帰り人間ドック等の健診ではオプション検査として実施しております。)

当センターは日本人間ドック学会から「人間ドック健診施設機能評価」、日本脳ドック学会から「脳ドック施設」の認定を受けており、精度の高い健診を目指しています。受診当日に医師による結果説明を行い、必要な方には保健師による保健指導も行っています。また、治療や精密検査の必要がある場合には紹介状を発行しています。

人間ドックの目的は、がんなどの病気を早期発見することで治療を目指すとともに心疾患や脳血管疾患を予防することで健康を維持・増進することです。当センターは「元気のパートナー」を基本理念として、皆様の健康づくりのお手伝いをさせていただいておりますので、是非ご利用ください。

その他、予防接種や各種健診も行っておりますので、ご希望の方はお問い合わせください。

### ●ご予約・お問合せ

公立藤岡総合病院附属外来センター 3F 健康管理センター  
電話 0274-22-3311 受付時間 9:00～17:00 (月曜～金曜日)



X線透視撮影装置



乳房撮影装置



血圧脈波検査装置



骨密度測定装置

■発行：〒375-8503 群馬県藤岡市藤岡942-1 公立藤岡総合病院

■TEL0274-22-3311(代) FAX0274-24-8701

■診療予定表・休診予定表 <http://www.fujioka-hosp.or.jp/post-36.html>



## 放射線診断科のご紹介

放射線診断科は4月から2名の常勤体制となりました。放射線診断科の主な仕事内容は、CT、MRI、核医学検査の読影です。その他に、他科から依頼があれば、骨や内臓の生検、腫瘍ドレナージ、血管造影も行います。

ここ数年のトピックスとしてはMRI造影剤による腎性全身性線維症(NSF)があります。腎機能低下のある患者さんで発症するガドリニウム造影剤による遅発性副作用で、全身の皮膚の腫脹や硬化、痛風で発症し、進行すると四肢関節の拘縮をきたす疾患です。有効な治療方法がなく、予防が極めて重要です。私が入局した10数年前は、腎機能が悪い患者さんは造影CTではなく、造影MRIをしましょうという時代でした。それがNSFという疾患の認識によって大きく変わりました。今正しいとされていることが本当に正しいかどうか、実はわからないことが多くあります。画像診断という手段を用いた診療への貢献、また患者さんに対して適切な医療が提供できるよう日々努力を重ねていきます。



放射線診断科医長  
神宮 晶子

放射線診断科医長  
守屋 真吾

## 入退院支援担当看護師が配置されました

平成27年4月より、入退院支援を担当する看護師が看護部門に配置されました。

場所は、入院棟1階正面玄関を入った左側の地域医療支援連携センター内に位置しています。

現在の主な業務内容は、入院時に予約患者さん・ご家族へ入院中の生活に関するご説明(入院時オリエンテーション)及び身体測定等を行っております。その後、各病棟までご案内しています。また、入院後は、早期より退院後の生活を見据えて、退院支援計画を調整し在宅でも安心して療養生活が送れるように、患者さん・ご家族の支援を行っています。そのため、退院支援カンファレンスや医師の病状説明等に必要時、同席させていただいております。その他、予約入院、緊急入院及び他医療機関からの紹介入院時は、病床利用状況を勘案し病床を確保(ベッドコントロール)しています。

今後も相談員等と協働し入院・退院支援を更に充実させ、患者さん・ご家族が安心して退院できるようにご支援いたします。ご要望等ございましたら、ご遠慮なくお申し出ください。

副看護部長 采谷 洋子

## 小児科外来のご紹介について

前号(18号)で小児科医及び病棟体制についての御紹介をさせていただきましたので、今回は小児科の外来診療内容についてお話ししたいと思います。

ご存じのように小児科は小児の内科全般を診る科です。当院でも内科が循環器、呼吸器、消化器、血液、腎臓、神経などに細分化されて標榜されていますが、小児科はそれらをあまねくカバーする必要があります。昨今、医療の進歩により小児科も各分野の求められるレベルが年々高くなっております。そういった要求に答えるべく当院小児科では大学の応援を受けながら各専門分野の外来を開いて対応しております。具体的には当科は常勤5人と非常勤4人で外来を組んでおりますが、一般小児科に加え腎臓、内分泌、アレルギー外来は各分野の学会認定専門医が専門外来を担当しており、心臓、神経、発達外来もその分野を専門とする医師が診療を行っております。かぜ、気管支喘息、胃腸炎だけでなく、学校検尿や心臓検診で用紙をもらった、夜尿症の悩み、低身長、やせ、肥満についての相談、食物アレルギーの正確な診断、治療について、便秘の悩み、てんかんなど神経疾患の相談、治療について、などなど、お子様のことでお困りのことがありましたら、お気軽に御相談下さい。



小児科部長  
渡部 登志雄

## がん征圧・がん患者支援チャリティーウォークイベント リレー・フォー・ライフ・ジャパン2015ぐんま

リレー・フォー・ライフ(命のリレー)は、がんに立ち向かう方々の勇気を称え、がん患者や家族、友人、支援者と共に地域一丸となってがん征圧を目指すチャリティー活動です。リレーイベント参加者は夜通し交代で歩きます。共に歩き語らうことで、がんへの理解が深まるとともに、あきらめない勇気、生きる希望を感じていただければと思います。群馬県では3回目の開催となります。是非会場にいらしてください。

10/17(土) - 18(日) 12:00 START(受付開始10:00-) → 12:00 FINISH(予定)

会場 群馬県総合スポーツセンター ふれあいグラウンド[前橋市関根町800]

問合わせ 群馬県健康づくり財団 総務部 企画広報課

TEL 027-269-7820・7403 mail kikaku@gunma-hf.jp

- 啓発ブースでは子どもから大人まで、がんについて学べます
- ステージでは、楽しい音楽、トーク、パフォーマンスがいっぱい
- フードコーナー&各種健康チェックコーナーも充実!
- 当院でも、ブースを出店しますので、お気軽にお立ち寄り下さい!

共催 (公財)日本対がん協会/リレー・フォー・ライフ・ジャパン2015ぐんま実行委員会



## 平成27年6月6日(土) 外来センターで ふれあい健康教室を開催しました

- 藤岡中央高等学校吹奏学部55名のみなさんによるミニコンサート。
- 講演:「糖尿病にならないために!」  
①糖尿病とは  
②食事・運動で予防!

来年もご参加お待ちしております。

